



知っておきたい福祉の話

☎ 社会福祉課障がい者福祉係（市役所 1 階⑧番窓口 ☎23-3331 内線319・320）

知っていますか「障害者週間」

「障害者週間」は、国民みんながお互いに人格と個性を尊重し、認め合って生活することができるように、広く障がい者の福祉に関心を持ち理解を深めてもらうために制定されました。

また、障がいのある方があらゆる分野（社会・経済・文化など）の活動に積極的に参加できるよう意識を高く持ってもらうことを大切にしている週間でもあります。

「障害者週間」は12月3日の「国際障がい者デー」から12月9日の「障害者の日」までの1週間ですが、日頃から、障がいについて理解し、日常生活や事業活動の中での配慮や工夫をしてみる事が大切です。

この機会に改めて、あなた自身にできることを一緒に考えてみませんか。

（この文章は、職業体験で社会福祉課に来た伊達中学校の生徒が作成しました）

声の広報・点字広報をご利用ください

市では、視覚障がいのある方へ「声の広報（デジタル図書形式のCD）」と「点字広報」を「朗読ボランティアやまびこ」、「伊達市点訳ボランティアの会」のご協力のもと作成し、希望者に配布しています。（「声の広報だて」は伊達マイコン研究会インコム伊達のホームページでも配信しています）

また、視覚障がいによる身体障害者手帳（1級か2級）をお持ちの方は、日常生活用具としてデジタル図書対応の視覚障がい者用ポータブルレコーダーの給付を受けることができます。（原則1割自己負担）

制度を利用して購入を希望される場合は事前に申請が必要です。担当へお気軽にご相談ください。

日常生活用具の給付申請
社会福祉課障がい者福祉係

声の広報・点字広報の申し込み
企画課広報広聴係（市役所 2 階 ☎内線238・239）



不妊治療費助成のお知らせ

☎ 児童家庭課保育係（市役所 1 階⑥番窓口 ☎23-3331 内線324）

市では、不妊治療を受けたご夫婦の自己負担金の一部を助成しています。

助成対象者

- ①助成申請日の1年以上前から引き続き伊達市に住民登録があること
- ②医療保険各法に規定する被保険者・組合員・被扶養者であること
- ③市税や国民健康保険税などの滞納がないこと

助成対象の治療内容

今年3月から来年2月までの医療保険適用の不妊検査や治療、人工授精

助成内容

3万5千円を上限に通算3回（3年間）

申請方法

担当窓口に備え付けている申請書に必要事項を記入して、対象期間内分の領収書や医療機関の証明書類などを添えて提出してください。

申請期限

来年3月10日(月)

※今後の治療予定がない・自己負担金の合計が3万5千円を超えているなどの場合は、その時点で申請できます。（2月末まで治療が必要などの理由で期限までに申請が難しい場合は、申請期限までにご連絡ください）

その他

体外受精や顕微授精を受けたときは、北海道の助成対象になる場合があります。

詳しくは、室蘭保健所（☎0143-24-9844）にご相談ください。



ご存知ですか？伊達市地域包括支援センター

☎ 高齢福祉課介護保険係（市役所1階⑤番窓口 ☎23-3331 内線304）

伊達市地域包括支援センター（☎21-7755）は、高齢者の皆さんの生活を支援するための窓口として伊達市が運営を委託している事業所です。

保健師や社会福祉士、主任介護支援専門員が、介護予防のお手伝いや身近な相談を受け付けたり、住み慣れた地域で自分らしい生活ができるように関係する保健施設や医療・福祉機関などと連携してより良い支援を提供できるようにするなどの活動をしています。



また、当センターでは、65歳以上で要支援や要介護の状態になる恐れのある方を対象に介護予防の総合相談や支援を行っています。積極的なご利用をお待ちしています。

職員の募集

下記のとおり職員を募集します。
詳しい内容は市社会福祉協議会（☎22-4124）までお問い合わせください。

募集内容

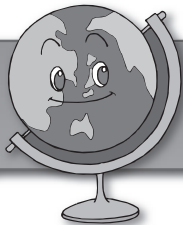
保健師かケアマネジャー業務経験がある看護師を2名程度

採用時期

来年2月1日、4月1日

申込期限 12月27日(金)

試験日時 1月10日(金)午後1時30分～



「平成25年度版伊達市環境白書」に関する答申

☎ 環境衛生課環境衛生係（第2庁舎 ☎23-3331 内線542）

市環境審議会の結城知一会長から菊谷市長に下記のとおり答申がありました。
（平成25年度版「伊達市環境白書」は市ホームページで公開しています）

環境白書全体について

「環境白書」は、「読みやすく・分かりやすく・市民に愛されるもの」が求められるが、現在の白書はページ数が多く文字が小さいなど、これらの要件を満たしていない。そこで、概要版の作成や文字サイズの拡大など作成方法について工夫や改善を図ってほしい。



また、「環境の状況や講じた施策」の記述は、市民に施策の内容や進行状況を的確に伝えることが目的であるので、数値が増減している要因や課題を記載するなど内容を充実してほしい。

個別施策について

「カーボンクレジット」などの新たな取り組みは、市民の環境問題への意識向上と積極的な取り組みを促すために、適時、情報を提供してほしい。

また、平成26年度から小型家電リサイクルが試行されるので、循環型社会の構築に向けて更なる市民への啓発に取り組んでほしい。

カーボンクレジットとは？

地球温暖化の原因とされる二酸化炭素を排出する権利。企業間や政府間などで取り引きされ、売買の取引市場もある。